

三菱UFJフィナンシャル・グループ
株主の皆さまへ

第5期中間期(平成21年4月1日～平成21年9月30日)



Quality for You 
MUFG



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成21年度中間期の業績およびグループの現況などをご説明いたします。

平成21年度中間期の業績

平成21年度中間期の連結中間純利益は、前中間期比489億円増加し、1,409億円となりました。これは、国内外の貸出収益や市場関連収益が堅調に推移し業務粗利益が増加したこと、統合効果の発現および経費削減努力により営業費が減少したこと、株式相場の好転に伴い株式等関係損益が改善したことなどが主な要因です。

社債や株式など直接金融市場の正常化に伴い、貸出は国内外で減少しましたが、預金は海外店預金の大幅増加などにより堅調に伸びております。また、MUFGの強みである海外業務は、利ざやの改善に加えて貸出関連を中心に手数料収益も増加するなど、順調に拡大しております。

財務健全性の観点では、連結自己資本比率は13.29%、中核の資本である連結Tier1比率も9.13%と平成20年度末比改善しました。不良債権比率も1.38%と低水準にとどまっており、引き続き健全な財務基盤を維持しております。

普通株式の配当につきましては、中間配当は期初予想どおり6円といたしました。また、期末配当は6円、年間配当は12円を予想しております。

主要経営課題への取り組み

回復の兆しは見られるものの、引き続き足下では厳しい経済状況が続いております。こうした情勢を踏まえ、円滑な資金供給など金融機関としての社会的責任をしっかりと果たせるよう、本年4月にスタートした中期経営計画では、経費節減をはじめとする経営効率化や、財務健全性の強化に取り組むこととしております。営業費の減少などに見られるとおり、主要課題においてすでに成果が現れており、計画は順調に進捗しております。引き続き、皆さまのご期待にお応えできるよう、手を緩めることなく強力に推進してまいります。

また、モルガン・スタンレーとの戦略的提携は、具体化が着実に進んでおります。グローバルな企業金融の分野では、本年7月に米国において共同マーケティング会社を設立、アジアをはじめとする世界の他の地域においても相互にお客さまのご紹介を開始するなど協働が進展し、実績も上がっております。

日本では、現在の両社の証券事業を統合し、あらたに2つの共同出資会社を設立することで合意いたしました。統合により誕生する2つの新会社が緊密に連携し、世界でトップクラスの証券業務や投資銀行サービスをご提供することにより、内外のお客さまの幅広いニーズに一層的確にお応えすべく、来年5月を目処に発足の準備を進めてまいります。

資本の増強

MUFGは今般、質の高い中核的自己資本の充実などを目的として、普通株式の発行による資本増強を図ることいたしました。

本件により、新しいグローバルな規制環境・競争環境も考慮しつつ、安全・安心な金融グループとして、金融仲介機能をしっかりと果たし、実体経済の発展に貢献していくための強固な財務基盤を堅持してまいりたいと考えております。

今後とも、企業価値向上に向けて役職員一同、力を合わせて邁進してまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、ますますご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

平成21年12月
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

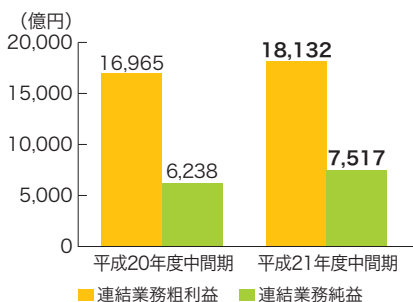
取締役社長

畔柳信雄

決算のポイント

- 連結中間純利益は、資金利益を中心とする業務粗利益の増加や経費の減少および株式等関係損益の改善などから、前年同期比489億円増益の1,409億円
- 貸出金は、金融市場の正常化に伴う国内外法人貸出の減少により、平成20年度末比4.0兆円減少。一方、預金は、海外店預金の増加などにより平成20年度末比1.8兆円増加
- 連結自己資本比率は、平成20年度末比1.52ポイント上昇の13.29%

連結業務粗利益・連結業務純益



損益の状況

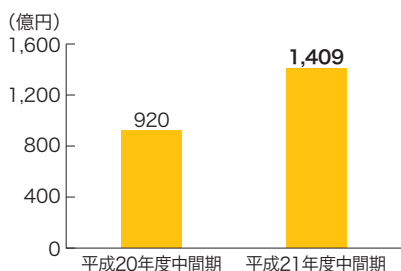
連結業務粗利益は、国内外の貸出収益や市場関連収益が堅調に推移したこと、昨年末に連結子会社化したアコムの収益が連結決算に反映されたことなどを主因に、前年同期比1,166億円増加の1兆8,132億円となりました。

営業費は、統合効果が現れてきたことに加え、グループを挙げて経費削減に取り組んだことから、前年同期比112億円減少の1兆614億円となりました。この結果、連結業務純益は前年同期比1,279億円増加の7,517億円となりました。

与信関係費用総額は、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行の単体合算では減少しましたが、その他の連結子会社で増加したほかアコム連結化要因もあり、前年同期比1,093億円増加の4,442億円となりました。一方、株式等関係損益は、株式相場の好転に伴い前年同期比886億円改善し133億円の利益計上となりました。

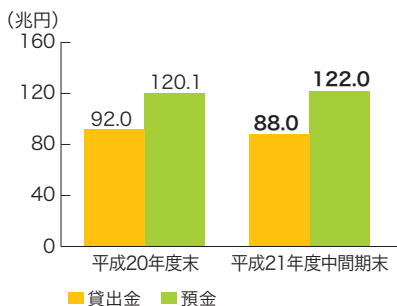
以上の結果、連結中間純利益は前年同期比489億円増益の1,409億円となりました。

連結中間純利益



(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

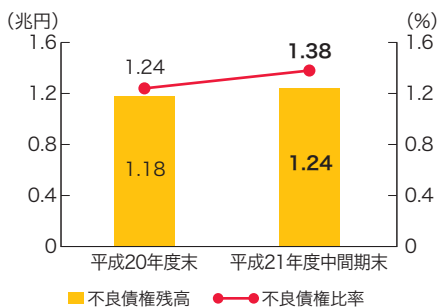
貸出金・預金



貸出金・預金の状況

貸出金は、社債や株式など直接金融市場の正常化に伴う国内外における法人貸出の減少を主因に平成20年度末比4.0兆円減少し、88.0兆円となりました。預金は、海外店預金の大幅増加などにより平成20年度末比1.8兆円増加し、122.0兆円となりました。

不良債権残高・比率

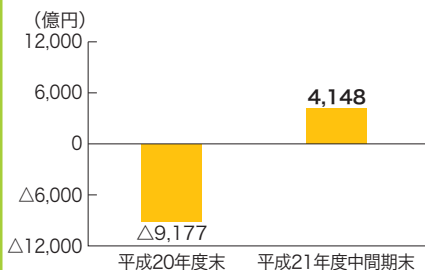


不良債権残高・比率の状況

不良債権残高*は、平成20年度末比0.05兆円増加の1.24兆円となりました。不良債権比率*は、平成20年度末比0.13ポイント上昇の1.38%となりましたが、引き続き低水準を維持しています。

*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の単体合算

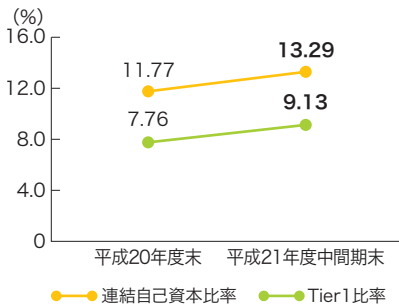
有価証券の含み損益



有価証券含み損益の状況

株式相場の上昇による国内株式の評価損益改善を主因に、有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は、平成20年度末比1兆3,326億円改善し、4,148億円の含み益となりました。

連結自己資本比率



■ 連結自己資本比率の状況

連結自己資本比率は、平成20年度末比1.52ポイント上昇し13.29%となりました。Tier1比率は1.36ポイント上昇し9.13%となりました。有価証券評価損が含み益に転じたほか、優先出資証券の発行などにより自己資本額が平成20年度末比1.47兆円増加したことが主な要因です。

平成21年度中間期決算に関するQ&A

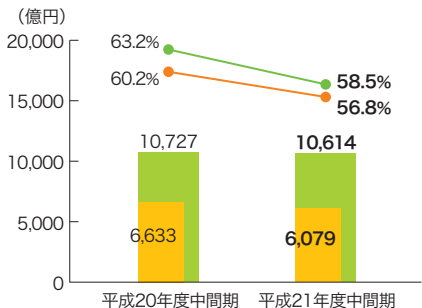
Q 経費(営業費)削減の状況について教えてください。

A 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行単体合算の経費は、新システムへの移行完了による統合効果に加え、全社的に経費削減を推進したことなどにより、前年同期比553億円の減少となりました。

連結営業費も、グループを挙げて経費削減に取り組んだ結果、アコムの子会社化にもかかわらず1兆614億円となり、前年同期比112億円減少しました。また、経費率(連結)も前年同期比4.6ポイント改善し58.5%となりました。

引き続き徹底した経営効率化に取り組んでいきます。

経費の推移



■ 経費(連結) ● 経費率(連結)*2
■ 経費(単体合算*1) ● 経費率(単体合算*1)*2

*1 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の単体合算

*2 経費率=営業費/業務粗利益(信託勘定償却前)

損益の状況(連結)

(単位：億円)

	平成20年度中間期	平成21年度中間期
連結業務粗利益(信託勘定償却前)	16,965	18,132
うち資金利益	9,705	11,152
うち役務取引等利益	5,050	4,931
営業費	10,727	10,614
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	6,238	7,517
臨時損益(△は費用)	△ 4,466	△ 4,639
うち与信関係費用	△ 3,459	△ 3,894
うち株式等関係損益	△ 752	133
経常利益	1,881	2,330
特別損益(△は損失)	6	△ 186
うち償却債権取立益	143	248
うち減損損失	△ 48	△ 100
うちのれん償却額	—	△ 279
法人税等合計	476	425
少数株主利益	491	308
連結中間純利益	920	1,409
与信関係費用総額(△は費用) (与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額 +与信関係費用(臨時損益内))	△ 3,349	△ 4,442

資産・負債の状況(連結)

(単位：億円)

	平成20年度末	平成21年度中間期末
資産の部	1,987,339	2,028,021
うち貸出金	920,568	880,320
うち有価証券	483,141	573,843
負債の部	1,901,632	1,928,564
うち預金	1,201,495	1,220,437
純資産の部	85,706	99,456

連結自己資本比率の状況(第一基準)

(単位：億円)

	平成20年度末	平成21年度中間期末
自己資本比率	11.77%	13.29%
Tier1 比率	7.76%	9.13%
自己資本	114,784	129,489
Tier1	75,751	88,943
総所要自己資本額	77,994	77,894

「メインバンク プラス」誕生

平成22年1月10日、三菱東京UFJ銀行は、個人のお客さま向けの主力サービスである「メインバンク」総合サービスを刷新し、名称もあらたに「メインバンク プラス」としてスタートします。

「メインバンク プラス」では、お客さまからいただいたご意見を踏まえ、簡単で分かりやすいサービスをめざして優遇内容の改廃などを行いました。また、インターネットバンキングでの他行あて振込手数料優遇サービスの追加や、優遇が適用される取引条件に給与や年金の受け取りを追加するなどサービスを充実させました。

なお、平成22年1月9日時点で、「メインバンク」総合サービスをご利用中のお客さまは、自動的に新サービスへ移行されます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。コールセンターまでお問い合わせください。

Main Bank
PLUS

「メインバンク プラス」のロゴ

三菱東京UFJ銀行ホームページ

http://www.bk.mufg.jp/info/091001_mb/index.html

三菱東京UFJ銀行コールセンター

0120-860-777 (毎日9:00 ~ 21:00)

「環境技術マッチング商談会」開催

三菱東京UFJ銀行は、平成21年8月、「環境技術」に特化した商談会を東京で開催しました。環境問題への社会的な関心が高まるなか、平成22年4月の改正省エネルギー法の施行に向けて、省エネルギーや水処理などの環境技術に対する企業のニーズは今後ますます高まることが予想されます。



今回の商談会では、独自の高い環境技術を持つ中堅・中小企業のお取引先と、さまざまな環境技術を組み合わせて二酸化炭素の排出量削減や省エネルギーの実現などをめざす電機メーカーや建設会社などのお取引先との紹介を行いました。当日は65社のお客さまにご参加いただき、100件を超える商談が行われました。

同行では、今後も国内外のネットワークを活かしたビジネスマッチング(お取引先のご紹介)に取り組み、お客さまの経営課題の解決や新たな事業展開を支援していきます。

三菱東京UFJ銀行デュッセルドルフ支店(ドイツ)開設50周年

デュッセルドルフ支店は、昭和34年、同地への日系企業の本格的な進出に先駆けて開設されました。その後、産業立地面での魅力から日系企業の進出が加速、現在のデュッセルドルフ市は、日系企業約500社、在留邦人約1.1万人の「欧州屈指の日系企業集積地」へと発展しています。同店は、開設以来50年にわたり、ドイツ全域の1,000社を超えるお客さまにさまざまな金融サービスを提供し、事業展開をサポートしてきました。

平成21年10月には、これまでご支援をいただいた地元ドイツ社会、日系社会を代表する各機関、団体やドイツ全域のお客さまなどの関係者約200名の方々にご参加いただき、50周年記念感謝会を開催しました。



開設当時のデュッセルドルフ支店



現在のデュッセルドルフ支店

英国資産運用会社アバディーン社との連携を強化

三菱UFJ信託銀行は、平成20年10月に資本・業務提携した英国の大手資産運用会社アバディーン・アセット・マネジメント社との連携を強化しています。平成21年3月から提携第一弾として、同社が運用する新興国株式に投資する商品を国内の年金基金などのお客さまに提供しているほか、同年9月からは提携第二弾として、新興国を含めた世界の株式に投資する新商品の販売を開始しています。

また、平成21年9月には、同社と共同で法人のお客さま向けに「資産運用セミナー」を東京・大阪で開催し、最近の投資家動向や運用環境、新興国株式を中心とする今後の株式投資に関して社内外の講師が講演を行いました。

三菱UFJ信託銀行では、今後も同社との連携を強化し、お客さまのグローバルな運用ニーズにお応えしていきます。



三菱東京UFJ銀行 バハレーン支店

バハレーンを知る

《バハレーン王国》



人口:約104万人
 首都:マナーマ市
 言語:アラビア語
 (英語も広く通用する)
 通貨:バハレーン・ディナール



バハレーンは、ペルシア湾に浮かぶ大小33の島からなる島国で、国土の総面積は約720平方キロメートルと奄美大島とほぼ同じ大きさです。

首都マナーマ市には、昔ながらの商店が立ち並ぶ一方で、埋め立て地では近代的な高層ビルの建設が進み、新旧の魅力が共存しています。また、1日に5度イスラム教の祈りの時間を知らせる「アザーン」が鳴り響き、街はエキゾチックな雰囲気にも包まれています。

バハレーンはイスラム教国家ですが、戒律には柔軟で、お酒が飲めるレストランや映画館などの娯楽施設が充実していることから、週末には隣国サウジアラビアなどからも多くの人を訪れます。

拠点紹介

バハレーン支店は、昭和55年1月に開設された、邦銀のなかでは最も歴史のある支店です。貸出残高の98%は地場金融機関を含めた非日系地場企業向けなど、現地に根ざして営業基盤を拡充してきました。

平成21年7月には、国家的事業として建設されたバハレーン金融センターのシンボル、バハレーン・フィナンシャル・ハーバーに移転、発展を続ける同国との関係をより強固なものとしています。

原油や天然ガスなど資源が豊富な中近東地域では、今後も資源開発や

インフラストラクチャー関連の事業拡大が見込まれることから、プロジェクトファイナンスや政府系ファンド向け大型協調融資業務などに積極的に取り組んでいます。



バハレーンからの現地レポート

グランド・モスク



7,000人の礼拝者を受け入れることができるバハレーン最大のモスク(別名 AlFateh Islamic Center)。イスラム教徒以外の人でも見学ができる数少ないモスクで、当地の民族衣装(男性は「ソープ」、女性は「アバヤ」)に袖を通して見学ができます。

見学者にイスラム教の教えを丁寧に解説してくれたり、時間帯によっては実際に礼拝する信者の方々に会うことができるなど、イスラム文化に触れられる人気のスポットとして多くの観光客を魅了しています。

バハレーンといえば、アラビア料理。

アラビア料理は、レバノン、トルコなどが発祥の、肉を串に刺して焼いたケバブや何十種類もある小皿料理が定番ですが、バハレーンでは、大家族が1つの大皿料理を囲んで食事をするという文化があります。

日本ではあまり馴染みのないアラビア料理ですが、意外と日本人の口にも合いお勧めです！

バハレーンの食卓から



チキン マチブース 鶏肉とタマネギなどの野菜との炊き込みご飯

キング・ファハド・コーズウェイ



キング・ファハド・コーズウェイ(King Fahd Causeway)は、5つの橋を持つ片側2車線、全長25kmの海上道路で、バハレーンとサウジアラビアのアル・コバールを結んでいます。昭和43年に両国が建設に合意、昭和61年に完成しました。

サウジアラビア東部までの所要時間は約1時間と非常に便利で、橋の左右に見える青いペルシア湾も絶景。現在では毎年500万人以上がこの橋を利用しています。

「アジア地域の次世代担い手研修」を実施

MUFGグループは、財団法人オイスカ*とともに「アジア地域の次世代担い手研修」を実施しています。

この研修は、アジアの開発途上国の若者たちを福岡市内にある財団法人オイスカの研修所に迎え入れ、1年間、組織運営や環境保全型の有機農業技術を学んでもらおうというものです。この研修の卒業生たちは、帰国後、各国のリーダーとして、将来のアジアの発展や環境保全分野での活躍が期待されています。

2年目となる今回も、カンボジア、インド、ミャンマー、モンゴル、パプアニューギニア、タジキスタンなどから計10名を迎えています。平成21年7月には、MUFGグループの従業員が研修施設を訪問し、研修生とこれまでの研修成果について話し合い、交流を深めました。



*財団法人オイスカ

昭和44年設立の国際NGO(非営利組織)。主にアジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開しています。

「CSRレポート2009」を発行

平成21年9月、MUFGグループは、「CSRレポート2009」を発行しました。同誌ではMUFGグループが取り組むCSR(企業の社会的責任)活動をご紹介します。ハイライト版と詳細版の2分冊からなり、いずれもMUFGのホームページに掲載しています。また、ハイライト版は、冊子としても発行しています。



三菱UFJ信託銀行『ピーターラビット®「未来へつなぐ」森』

平成21年5月、三菱UFJ信託銀行は、埼玉県、^{ながとろ}長瀬町と共同で、^{ほどさん}長瀬町宝登山地内にある共有林の森林づくりに関しての協定を結びました。今後6年にわたり植樹や下草刈りなどを行います。

同社のイメージキャラクターであるピーターラビット®をシンボルとしたこの森の名前には、豊かな自然環境を守り、次世代につないでいきたいとの想いを込めています。

同年10月に実施した第1回植樹では、三菱UFJ信託銀行の従業員やその家族108名が参加し、約500本の苗木を植えました。



「リレー・フォー・ライフ 2009 in 新横浜」に参加

三菱東京UFJ銀行は、平成18年から、財団法人日本対がん協会が行っているがん征圧のための活動を応援しています。

平成21年9月には、同協会主催のイベント「リレー・フォー・ライフ 2009 in 新横浜」に参加しました。「リレー・フォー・ライフ」(命のリレー)は、がん患者やご家族、その支援者の方々が24時間歩き続け、がんには負けない社会をつくるという願いを新たにするとともにぎずなを深め合うためのイベントです。

三菱東京UFJ銀行は、このイベントの趣旨に賛同しブースを出展、従業員が参加した方々と一緒に「ちぎり絵」の作成を行いました。この「ちぎり絵」は、病気やけがの苦しみを抱えている子どもたちを励ますために、ケニアの小児病棟に寄贈されます。



平成21年9月、東京で開催した株主さま向けセミナーの概要をご報告します。

本セミナーに多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。抽選によりご招待した株主さま177名にご来場いただきました。

当日は、三菱東京UFJ銀行金融市場部高島チーフアナリストによる為替相場セミナーの後、同行ディーリングルームを見学していただきました。

セミナーでは、円高ドル安となった背景や商品相場と為替相場の関係などを解説。講演後の質疑応答では、今後の為替相場の見通しや政権交代による影響など、さまざまな質問が寄せられました。

セミナー終了後のアンケートでは、「講演が分かりやすかった」「普段見る機会のないディーリングルームが見られて勉強になった」などのご評価をいただきました。

アンケートなどでいただいたご意見を参考に、今後も株主の皆さまを対象としたセミナーの充実を図ってまいります。

なお、次回は平成22年3月に東京・大阪・名古屋にて株主さま向けセミナーを開催する予定です。詳細につきましては、次項13ページの「開催概要」をご覧ください。



為替相場セミナー



ディーリングルーム見学

MUFG 株主セミナー 開催のお知らせ

日頃ご支援いただいております株主の皆さまを対象に、「MUFG株主セミナー」を東京・大阪・名古屋で開催いたします。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

開催概要

開催日時	[名古屋] 平成22年3月15日(月) 13:00～14:30頃 [東京] 平成22年3月16日(火) 13:30～15:00頃 [大阪] 平成22年3月17日(水) 13:30～15:00頃
開催場所	三菱東京UFJ銀行内会議室
内容	講演テーマ 「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員調査部長 五十嵐 敬喜 氏
募集対象者	平成21年9月末時点で当社株式を100株以上お持ちの株主さま (ご同伴者1名さままで可)
募集人数	[名古屋]100名さま [東京]250名さま [大阪]150名さま (ご同伴者含む)



応募要領

応募方法 同封の「MUFG 株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

締め切り 平成22年1月15日(金)消印有効

ご記入要領

- ご希望の開催日(会場)をおひとつお選びください。
- 株主さまのご住所、お名前、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者がある場合、その方のご住所、お名前をご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

応募多数の場合、抽選といたしますのであらかじめご了承ください。

厳正な抽選の上、当選された株主さまには平成22年2月中旬にご招待状をお送りいたします。

(ご注意)

- 当日の受付時刻および集合場所などの詳細につきましては、当選された株主さまに別途ご案内いたします。
- 参加費は無料ですが、開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる可能性がございます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主セミナー係
電話：03(3240)8111(代)

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日／中間配当金9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL : http://www.mufg.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所

株式に関するお手続き

株券電子化実施(平成21年1月)に伴い、お手続きの取扱場所が変更になりました。詳しくは下記をご覧ください。

なお、株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構(ほふり)に預託されなかった株式は、当社が株主さま名義で開設した「特別口座」に記録されています。

■証券会社等の口座に株式をお持ちの株主さま

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金受取方法の指定その他各種お手続き

取扱場所

口座を開設されている証券会社等
(口座管理機関)

■「特別口座」に記録された株主さま

- ・特別口座に記録された株式に関する各種お手続き

(特別口座から証券会社等の口座への口座振替申請、特別口座の株式の相続、特別口座の単元未満株式の買取請求・買増請求など)

取扱場所

三菱UFJ信託銀行 証券代行部
(特別口座の口座管理機関)

■お問い合わせ先・郵便物送付先

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話：0120-232-711(通話料無料)

(受付時間

土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

三菱UFJ信託銀行本支店でもお手続きできます。

■全ての株主さま

- ・未受領の配当金のお支払い

取扱場所

三菱UFJ信託銀行本支店
(株主名簿管理人)

特別口座の有無がご不明な場合は、上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

取締役・監査役／大株主

取締役・監査役（平成21年9月30日現在）

取締役会長 (代表取締役)	たまごし りょうすけ 玉越 良介	取締役	やすだ しんたろう 安田 新太郎	取締役*	はらだ あきお 原田 明夫
取締役副会長 (代表取締役)	うえはら はるや 上原 治也	取締役	ながやす かつり 永易 克典	取締役*	あらき りゅうじ 荒木 隆司
取締役社長 (代表取締役)	くるやなぎ のぶお 畔柳 信雄	取締役	あきくさ ふみゆき 秋草 史幸	取締役*	おおとし たくま 大歳 卓麻
取締役副社長 (代表取締役)	おおもり きょうた 大森 京太	取締役	たけうち かずお 竹内 和男	常勤監査役	やすだ しょうた 安田 正太
専務取締役 (代表取締役)	さの さぶろう 佐野 三郎	取締役	おかうち きんや 岡内 欣也	常勤監査役	まえだ てつお 前田 哲男
専務取締役 (代表取締役)	さいとう ひろし 斎藤 広志	取締役	わち かおる 和地 薫	監査役**	たかすか つとむ 高須賀 昴
専務取締役 (代表取締役)	かめい のぶしげ 亀井 信重	取締役	おやまだ たかし 小山田 隆	監査役**	おかもと くにえ 岡本 圀衛
				監査役**	いけだ やすし 池田 靖

* 原田 明夫、荒木 隆司、大歳 卓麻の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

** 高須賀 昴、岡本 圀衛、池田 靖の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

大株主（普通株式 平成21年9月30日現在）

	持株数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	690,342,400	5.92
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	443,937,300	3.81
3 日本生命保険相互会社	285,603,153	2.45
4 ザバンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ	268,376,272	2.30
5 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.50
6 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.28
7 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	139,592,182	1.19
8 明治安田生命保険相互会社	139,185,671	1.19
9 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	134,396,214	1.15
10 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 9)	132,597,400	1.13
合計	2,558,293,745	21.96
発行済株式総数	11,648,360,720	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. ザバンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人であります。

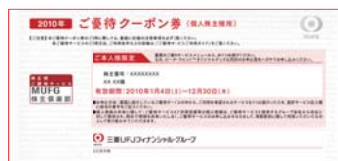
●「ご優待サービスご利用ガイド 2010」の送付について●

平成21年9月30日時点の当社株主名簿に、100株以上お持ちと記載された株主の皆さまを対象に、「ご優待サービスご利用ガイド2010」を、12月16日以降、年末までにお届けする予定です。

「ご優待サービスご利用ガイド 2010」には、「オリジナルグッズお申し込み専用ハガキ」「ご優待クーポン券*」を同封していますので、ご確認をお願いいたします。

*「ご優待クーポン券」は500株以上お持ちと記載された株主さまを対象にお送りします。

優待制度の詳細につきましては、当社ホームページでもご紹介しています。ぜひご覧ください。



ご優待クーポン券



個人株主さま用



法人株主さま用

<http://www.muftg.jp/investors/programs/>

「日経 IR フェア 2009」に参加しました



MUFGは、平成21年9月に東京ビッグサイトで開催された日本経済新聞社主催の個人投資家向けIRイベント「日経IRフェア2009」に参加しました。日本最大級の個人投資家向けIRイベントである同フェアには、上場企業など56社が展示ブースを出展、多くの個人投資家の方々が来場されました。

当社は、展示ブース出展のほか個別会社説明会も開催し、「MUFGの経営戦略」と題して、当社の強みや経営戦略、「ファン株主」づくりをめざした取り組みなどを説明しました。

ホームページリニューアルのご紹介

MUFGのホームページでは、株主・投資家の皆さま向けに最新のニュースリリースや株主優待情報などを掲載しています。

平成21年10月には、横幅拡大などのリニューアルを行い、より見やすいホームページとなりました。CSR(企業の社会的責任)活動を紹介するページでは、MUFGグループの活動はもちろん、社会的な課題に取り組む企業や団体の活動を紹介する、MUFGグループ提供のテレビ番組「未来へのおくりもの」の動画もご覧いただけます。

<トップページ>



<http://www.mufig.jp/>

<個人投資家の皆さまへ>



<http://www.mufig.jp/investors/>

<社会とともに 映像ライブラリー>



<http://www.mufig.jp/csr/movies/>

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1
電話03(3240)8111(代表)
URL:<http://www.mufig.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)